

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和7年6月9日(月)
午前10時44分から午前11時6分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員(委員長)水野忠三 (副委員長)堀江珠恵
(委員)片岡健一郎、谷平敬子、大野慎治、井上真砂美、木村冬樹
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

水野委員長：今年も行うということでよろしいか。

(異議なし)

水野委員長：視察先の希望や意見があれば書面で提出していただきたい。様式は自由。提出締め切りは6月定例会最終日の6月19日(木)正午までとする。提出された調査先については正・副委員長で精査する。よろしいか。

(異議なし)

水野委員長：そのようにする。

(2) 政策提言等について

水野委員長：2年スパンでやっていくことが先日の議長選挙の時などで合意できていると考えている。まず、2年スパンで考えてよいか。そもそも政策提言や委員会代表質問をやるかやらないか、何か今ご意見があればお願いしたい。

(発言する者あり)

水野委員長：現状では委員が来年変わることになるが、2年スパンで行うか、1年スパンで行うか。正式には改選後に決まると思うが、議長選挙のときに方向性は示されたと考えている。ここからの2年間はいかがするか。

(発言する者あり)

水野委員長：今最終決定するわけではなく、各委員の現在の考えをお伺いしたい。それを元に今後のスケジュールを提案したいと思っている。

片岡委員：2年スパンで行えばそれなりの調査研究期間が取れるので、自分は2年スパンに賛成である。

水野委員長：では、各委員一言ずつ意見をお願いします。

井上委員：政策提言は、今、岩倉市でも国でも、教育関係など、考え方が難しい

問題がある。厚生・文教常任委員会で解決できるテーマがあれば視察も含めて調査・研究していきたい。以前は子育てのテーマを重視して、視察先も研究することもその方面に特化したこともある。

水野委員長：調査期間についてはいかがか。

井上委員：2年は長いと思う。

堀江副委員長：政策提言に持っていきたいという委員の合意が得られるのであれば2年スパンがよいと思うが、まだその段階ではないので判断しかねる。

谷平委員：2年のほうが長くいろいろと勉強して研究することができるので、政策提言をやっていくということであるならば2年がよいかと思う。現在は1年で行っているので、それが2年になると思うと長く感じるのは皆さん同じだと思う。

大野委員：本来は2年というのは、決算等で課題を見つけて、そこから1年半や1年かけて行うものとする。市民の役に立つ政策提言があるのであれば1年半かけてもいいが、現時点では2年は難しいと考える。

水野委員長：テーマによって、長くかかるものと、短くてもできるものがあると思う。

木村委員：どちらでもよいが、個人的なことを言うと自分は2人会派であり来年は総務・産業建設常任委員会に所属することになるため、責任を持ってできないという点で言えば、そういう動きをつくるのは改選後だと思う。ただ、政策提言や委員会代表質問は重いと受け止めている。今回、育休退園制度が廃止されたのも、請願もあったが、その時の井上委員長が頑張ったおかげだと思っている。やはりテーマが大事である。この1年間の中でテーマがあって、12月や3月の定例会にやるということになるのであれば、政策提言等もありうると思うが、2年になるのであれば責任を持てないなというところである。

水野委員長：やはりテーマや課題によってというところがある。視察を行った上で最終的にスケジュールを決めることになると思う。この場で決めることは難しいと思うので、正・副委員長で相談し、視察や課題の方向性がある程度決まった段階で再度相談させていただく形でよろしいか。

(異議なし)

水野委員長：政策提言等についてその他ご意見等はいかがか。

片岡委員：政策提言や代表質問について、委員長の思いはどのようなか。

水野委員長：委員の合意が取れるものであればさせていただければと思っている。自分も委員として思いを持ってやれるものであればよりよいと思っている。

(3) 厚生・文教常任委員会で所管する岩倉市の計画について

水野委員長：木村委員から、委員会として執行機関からの説明を求めたほうがよいと思う計画があるという提案があった。木村委員から説明をお願いしたい。

木村委員：3月定例会の条例の審議の中でも出たが、岩倉市子ども未来応援計画についてである。これまであった子ども条例に基づく計画と、国が定めるとされている子育て支援の計画を合わせて、初めてこの名称で作成された。協議会の場などで説明を受けたいと思っている。

水野委員長：提案のあった計画について執行機関側から説明いただく場を設けることについて、ご異議はあるか。

(異議なしの声あり)

水野委員長：行う方向で検討する。日程であるが、木村委員から提案があった後に執行機関側と日程調整を行った。16日(月)か18日(水)に行いたい。執行機関側に候補日をいくつか提案し、執行機関に日程を決めてもらおうと思っているが、ご都合はいかがか。

各委員：候補日の都合について発言。

水野委員長：第一希望は18日(水)午前10時から、第二希望は18日(水)午後1時10分からとして担当課に確認し、開催日時が決定したらお知らせする。

(4) その他

大野委員：行政視察の行先は関東方面にするのか関西方面にするのか。

水野委員長：まずは各自の問題意識で自由に提出していただきたい。

大野委員：1泊2日を2回ということによいか。

水野委員長：2泊だと困る人はいるか。

(発言する者あり)

水野委員長：原則1泊2日を2回で検討していくということによろしいか。

(異議なし)

8 その他

なし